

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

「一雨一度」という言葉は、雨のたびに気温が下がる様子を意味するが、日本各地で最高気温と最低気温の温度差が10度を超える地

点の報道が気になる。二季連続でブルーニャ現象の発生は極めてまれで、今冬の多量の降雪での災害が懸念されてしまう。

11月、精神科医の長谷川和男さんが92歳で亡くなられた。認知症の早期発見を容易にする「長谷川式簡易知能評価スケール」を開発。「今日は何年何月何日何曜日ですか」「百から七を順番に引いて行ってください」など体験した人がいるはずだ。4年前には自ら認知症を公表して、当事者としての思いや発見を著書に綴った。50年近く前、認知症

の人は「何も分からなくなつた人」としてひどい偏見にさらされてきた。家に閉じ込められたり、精神科の病院でベッドに縛りつけられたりの実情を目のあたりにして、患者の尊厳を守り、その人らし

合って生きるもの」が強く印象に残る。今年、月の観察のために空を仰ぐ機会が多かった。幼年の頃、縁側にススキを飾り、団子を供えて、月に住むウサギが餅をつく姿に思い馳せた記憶のあ

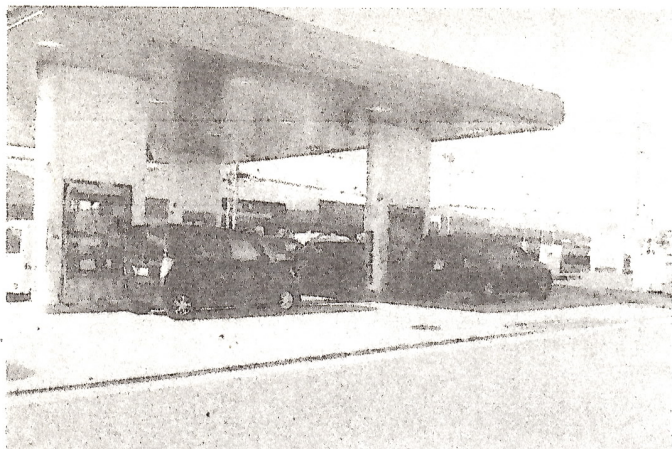
## 「常識」に思いを巡らせてみませんか

さを大切にする「パーソン・センタード・ケア」の理念をひろめるのに尽力、「痴果」という用語を「認知症」に変えたと多くの新聞が功績を伝えた。長谷川さんが残した言葉「長寿の時代、誰もが向き

を月の陰影に見いだしたのだろう。今年、一般人が宇宙船で旅する事が実現した年でもある。宇宙が身近になり、どんな発見があるのか期待したい。3年前に、ダーウィンの進化論を揺るがす「人類はもともと人だったのかもしれない」とアメリカとスイスの大学研究者が報告している。遺伝子データバンクに保存されている10万種の生物のDNAから抽出された遺伝子断片の調査で、人類を含む地球上の生命種のうちの9割が10万〜20万年前に出現したと結論付けた。事実な

ら、人間の祖先は約700万年前に中央アフリカ西部に暮らしていた霊長類だったとの教えは何だったのか、生

命の起源を改めて考えたいものだ。  
(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



休日。燃料費高騰のために1円でも安いガソリンスタンドが大混雑に